

# 大府 防災

## もしもの時のいつもの備え 今からできる防災準備。

市では、いつ起こるか分からない災害に備え、市民の皆さんの生命財産を守るためにさまざまな取り組みを行っています。皆さんのご家庭でも、災害を想定した「もしもの時のいつもの備え」をお願いします。



危機管理課  
大崎雅矢

### 防災ガイドブックで事前確認

平成31年3月に防災ガイドブックを全戸配布しています。このガイドブックは家庭に必要な情報を書き込めるものになっています。オリジナルガイドブックを完成させて、事前に災害に備えましょう。



防災ガイドブック

### 今からできる！ 防災対策アドバイス

- 防災ガイドブックを見て、自宅周辺の水害・土砂災害の危険性を把握しておく。
- 自宅で生活ができるよう、家族にとって「ない・困る物」を備蓄しておく。
- 家具の固定を徹底し、地震が起きた場合の家具転倒を防ぐ。

### エアコン利用時も、小まめな換気を

今年の夏は、自粛生活で体が暑さに慣れていないことから熱中症のリスクが高まっています。意識してほしい熱中症の予防方法を紹介します。

#### 今年の熱中症予防アドバイス

- 換気を確保した上で、我慢をせずにエアコンを利用するなど、暑さを避ける。
- 周囲の人と距離を保った上で、適宜マスクを外す。
- 30分～1時間に1回を目安に、喉が渇く前に水分補給をする。
- 十分な睡眠・食事の確保、毎日の体温測定など、日頃から健康管理を行い、体調が悪いときは、無理せず休む。



健康増進課  
土屋洋太

## 令和2年度の市の新たな取り組み 災害に備える3つの供給

### 1 食料供給

#### 災害物資の購入・更新

東日本大震災や熊本地震などを参考に、中央防災倉庫や各避難所の防災備蓄倉庫に配備する物資を購入します。

#### 液体ミルクの導入

災害時に乳児にすぐ授乳することができる液体ミルクを中央防災倉庫に備蓄しました。



### 2 エネルギー供給

#### 全中学校の体育館・柔剣道場に電源自立型空調機を設置

市内全中学校の体育館および柔剣道場に、LPガス災害対応バルクとその燃料で稼働する電源自立型空調機を設置し、体育館利用時の熱中症予防を推進するとともに、災害時の避難所でも冷暖房が使えるよう、環境改善を図ります。



### 3 情報供給

#### 同報無線に高性能スピーカーを設置

平成30年度に同報無線の操作機器を更新したことに伴い、同報無線のデジタル化対応を進めています。今年度は広範囲に明瞭な音声を届けることができる高性能スピーカーを吉田公民館に設置します。



### 風水害の季節の到来

新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除された今、ウイルスと共存する生活として、マスクの着用など、国は新しい生活様式を示しました。徐々に落ち着きを取り戻しつつある日常ですが、突発的な集中豪雨や台風による風水害の危険なシーズンが迫っています。

### 市の災害対策の取り組み

市では大府市に大雨・洪水・暴風警報が発表されたり、震度5弱以上の地震が発生したりした場合は、災害対策本部および10カ所の災害対策支部を開設します。災害対策支部は河川などの危険箇所の巡回や自主防災組織と協働して地域の被害軽減に務めます。

### 各自の事前の備えが効果的

市民の皆さんも、いつ起こるか分からない災害を身近なこととして捉え、平常時から準備をしておきましょう。各家庭に配布している防災ガイドブックは、災害発生時に大きな心の支えになります。今後の集中豪雨や台風による風水害と、いつ起こるか分からない地震に備えるために、もしもの時のいつもの備えになる防災ガイドブックをぜひ活用ください。

### 忘れないで。熱中症の予防

「災害レベルの暑さなどと、連日メディアを騒がす近年の夏。風水害だけに限らず、熱中症の危険も潜んでいます。

市では熱中症対策として、外出時に立ち寄れるひと涼みスポットを公共施設に開設するとともに、同報無線による注意喚起を行います。各自、熱中症を自防として捉え、小まめに水分を補給し、エアコンの効いた涼しい部屋で過ごすなど、日頃から熱中症予防の意識を持って、暑い夏を上手に乗り越えましょう。

### 正確な情報を迅速に得られます 災害情報の受け取り方法

#### 受取方法



▶安全安心メルマガ



▶市公式Twitter



▶市公式LINE

▶市ホームページ  
▶同報無線

※同報無線で熱中症の注意喚起を行います。12℃をご覧ください。

### 避難所に関するお願い

#### 新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い

市では各公民館とミュージアムが災害対策支部として開設し、自主避難が可能になります。避難時には、感染拡大防止のため次のご協力ください。

- マスクの着用
- 飲食物や毛布などの持参
- 避難所以外への避難(安全な知人宅などへの避難の検討)

#### 避難所運営協力をお願い

大規模災害時、避難所では多くの方の助けが必要になります。

看護師、保育士、防災士の資格をお持ちで、避難所運営に協力していただける方は、危機管理課までご相談ください。

危機管理課 ☎(45)6320